

経営学部で学ぶ感性

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 論述	記述	30	120分
II 論述	記述	30	
III 論述	記述	40	
合計		100	

【出題の基本方針】

本入試における出題の基本方針は、経営学部で学ぶ上で期待される総合的な感性の力「発想力、構想力、文章表現力等」といった受験生の総合的な能力(感性の力)を確認することにある。具体的には、受験生が与えられた題材(文章や語句、図や写真など)の背景や意図を読み解き、受験生が学習して培った「知的好奇心」「観察力」「洞察力」「発想力」などの学力を交えた主体的な見解を論理的に整理し(構想力)、その内容を他者に具体的かつ明解に限られた字数で伝える「文章表現力」を評価することを目的としている。

【学習のポイント】

- ・ 経営学部で学ぶうえで期待される総合的な感性の力、「発想力、構想力、文章表現力等」は、日々の多面的な学習を基礎にするものである。日頃から、経営に関する事柄に関心を持ち、それぞれの事象の背景、要因、各事象の特徴と意義について考えることを心がけてほしい。そのためには、新聞を読みニュースを題材に自分の考えをまとめる作業を行うことが重要である。
- ・ 社会科の関連の諸科目だけでなく、すべての科目にわたって幅広い教養を身につけておくことが重要である。そのような日々の学習は、「観察力」「洞察力」「知的好奇心」を高める上で有効である。関心のあるテーマについては、新書を読むなどして、基礎的な知識を深めておくように心がけたい。そのうえで自分の考えを展開できれば良い。なお、誤字脱字は減点となるので、パソコンやスマートフォン等での文字入力とは異なる、実際に文字を書いて文章を作成するという練習が不可欠であろう。